

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日:平成28年10月28日(金)
場所:JAおおいがわ広幡支店(藤枝市)
主催:静岡県
回答人数:32名

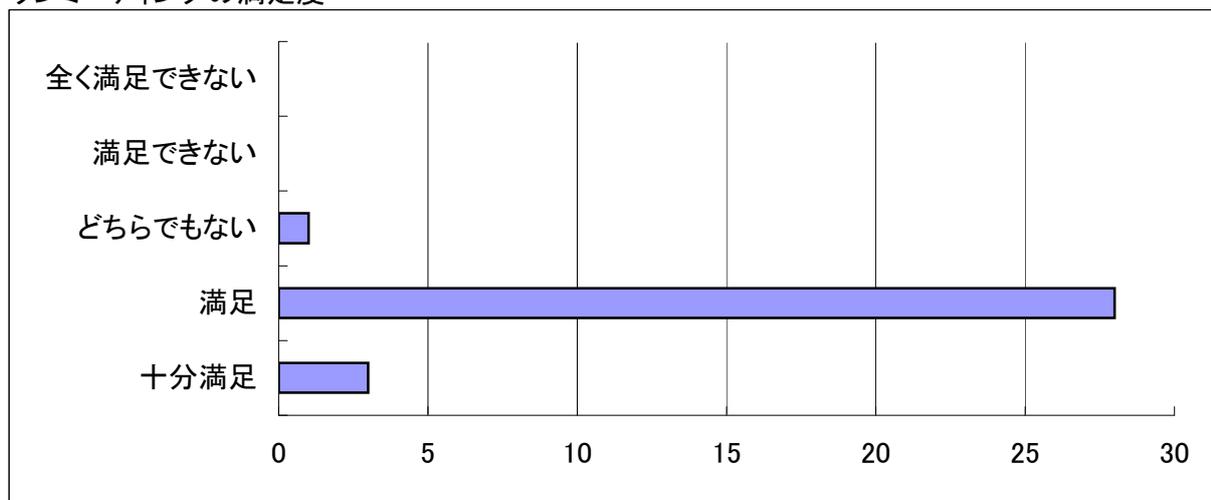
I 参加者

(1)男女比

男性	9人
女性	23人
合計	32人

II タウンミーティングについて

(1)タウンミーティングの満足度



III 意見・感想

- 無人販売をしている農家がふえているが、加工品などの衛生が心配です。
- 本県のはほとんど安心・安全と思っています。我が家でも出荷物には気を使っています。
- 表示に国産と書いてあると安心して買物が出来ると思います。
- 話の内容がちょっとこまかい。
- 消費者がよく注意して購入、正しい調理法で使うことが大事。
- これまで無関心だったので勉強になりました。
- 情報提供の充実を”わかりやすいことばで”お願いしたい。

IV 質問

○使い捨て手袋の効果について

(県回答)手袋をするから手洗いはしなくてもいいということではない。手袋を着用し作業する場合であっても、手洗いをする必要がある。使い捨て手袋は、作業ごとに交換する必要があり、適当な間隔での交換が必要。手袋を交換する際にも、正しい手洗いは必要。

○ノロウイルスなどに汚染されていることが分かるセンサーはないのか

(県回答)手や食品に付着した細菌やウイルスは目でも見ることができないし、金属探知機のようにウイルスを検出する機器はない。ただし、手洗いの確認・検証する方法には、蛍光ローションを汚れと見立てて洗い残しを検証するものや、食品残渣に含まれる物質を汚染指標として検出・測定し、目で見て確かめることはできる。

○行政(地域農業課)から参加者への質問:「県内で生産される主な農林水産物の放射性物質検査について」

- ① 現状のどおり、品目も頻度(年1回)の検査実施してほしい 2名
- ② 引き続き、放射性物質の検査は必要と考えるが、品目については検討してもよいのではないかと…大多数
- ③ きのこと等 放射性物質が検出されている品目のみではよいのではないかと…8名